

女性活躍推進事業【岐阜県本巣市】

個別事業費	831 千円
交付金額	415 千円

地域の実情と課題

市のアンケート調査結果によると、出産や育児を契機に離職された女性にとって、正社員での再就職先を探すことは難しかったり、県などが開催するキャリアアップセミナーはハードルが高く感じ参加しづらいという声があった。一方、「社会とのつながりを感じたい」「少しずつ復帰したい」などの潜在的な意欲もうかがえたことから、復職のきっかけとなる支援の必要性を感じた。

事業の特徴

再就職を目的とするのではなく、再就職することを目指す気持ちをも高めることを事業の基本方針に、これまでハードルが高いと感じられた「キャリアアップセミナー」とは一線を画し、座学講座と体と頭を使うバランスボール講座を組み合わせることによって、ターゲット層の女性が興味を持ちやすく、また託児付きにすることで参加しやすい講座環境を整えた。

事業の効果

講座終了後に実施したアンケート調査では、事業内容に対して参加者から好評で、「再就職に前向きになれた。」や「家族以外に自分の気持ちを打ち明けることで人生に前向きになれた。」など、事業の目的以上の効果があったことがうかがえる意見が寄せられ、事業の継続的な実施の声が挙げられた。また、講座を受講したことがきっかけで、再就職に至ったという報告も受けた。

目的・目標

20～40代の産後・子育て中の女性をターゲットに、「社会とのつながり」「復職のきっかけ」をテーマに、頭や体を使うバランスボール講座を6回、社会とのつながりを実感できる座学の講座を4回の全10回開催し、県などが開催するキャリアアップセミナーなどに参加したいと思う意欲ある女性を育成した(定員20名に対して19名の申込)。

連携団体

- ①本巣市男女共同参画推進懇話会
岐阜大学、連合自治会、人権擁護委員、消防団女性分団、教育委員会、子ども会育成協議会、民生委員児童委員連合協議会、商工会、農業委員会、その他市内企業等
- ②本巣市結婚・子育てアドバンス認定企業
市内認定企業19社(URL:
<https://www.city.motosu.lg.jp/0000000176.html>)

今後の課題

長年にわたり人々の中に形成された根強い固定的な性別役割分担意識などを解消していくには、男女共同参画に関する事業の継続的な実施と実施事業を広く周知し続けていくことが必須と考えられる。令和6年度においても本事業を継続して実施し、前年度以上に個人や会社に当該事業の存在をアピールしていく。



バランスボールを使った ファーストステップ講座(6回)

ファーストステップとして、産後ケアに取り入れられるなど、産後の女性特有のホルモンバランスの乱れや運動不足解消にもつながり、疲労からの回復を促す効果もあるバランスボール講座を実施し、個人の体づくりだけでなく、受講する”仲間”との一体感を高めました。



座学 セカンドステップ講座(4回)

ファーストステップ講座でほぐれた体と心で、受講生同士のより深い交流や5年後の未来の人生ビジョンマップづくり、地元企業との交流会などを通じて、再就職を目指す「はじめての一步」を支援しました。